



AA日本ニューズレター

No.217

■もうすぐ50周年記念集会 ～桜舞う会場で、あなたとお目にかかれることを楽しみにしています～

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

実行委員会 広報担当 早川(城南地区さくらグループ)

いよいよ9ヵ月後に迫った2025年3月28日(金)29日(土)30日(日)の三日間、埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティでAA日本50周年記念集会が開催されます。先人から手渡されてきた資産、仲間のもとよりわたしたちの問題に関わってくださるすべての方に対する感謝と、新しい自由・新しい幸福を生きる喜び。こうしたAAの基本的な精神を周年行事で分かち合い、いま苦しんでいる仲間にも発信することは、過去にも示されてきたところです。

そして今回は、さらに付加される意義を持つと言えます。それはAAの活動にとっても障壁となったコロナ禍と、それに伴う2020年の45周年記念集会の中止という残念な経験を乗り越えての開催という点。試練を経たわたしたちにとって、新しい経験と力と希望を分かち合う格好の場となるでしょう。桜舞う会場で、あなたとお目にかかれることを楽しみにしています。

ホームページ: <https://aa50.jp> (英語ページ: <https://aa50.jp/en/>) 検索キーワード「AA50周年」

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

「つなげる手、つながる心、その先にある未来」

上の見出しがAA日本50周年記念集会のテーマである。全国のAAメンバーから文案を募り、多数集まった力作のなかから検討に検討を重ねて選ばせていただいた。

実行委員会発足当初から、だれと申し合わせるでもなく委員一人ひとりの胸中に、コロナ禍によって多くのミーティング会場が使用できなくなり、仲間とのつながりが希薄になった経験があったのはまちがいないだろう。「つなげる」「つながる」ことから「未来」が拓けるという確信が、そんな思いにマッチしたと言える。

テーマ同様に多数ご応募いただいたロゴマークは、国旗のイメージをベースにしたCGデザイン案に決定した。対面式のミーティングを開けない次善策としてオンラインでの分かち合いが盛んにおこなわれているなか、デジタルのテイストが加味された作品の採用となった。

(当ニューズレターのロゴ(紙面の左上)に採用しています。)

■ポスターのデザインについて

公募を呼びかけるべく話し合われていたが、実行委員会のなかで「50周年」とテーマの「つなげる手」と絡めて、50人分の仲間の手形を集めて絵柄を作ってみてはどうかという案が上ると、多数決



ですんなりと決まった。仲間に広く呼びかけて手形を押してもらうことで、記念集会そのものに参加する意識を持ってもらうことにもつながり、また、絵柄づくりに少なくとも50人の仲間に携わってもらえることも、本案が採用される大きな理由となった。

ラウンドアップ会場などで突然声をかけられ、掌に絵の具を塗って手形を押してくださった仲間、ありがとうございます。ポスターを見て、どれが自分の手かわかりますか?

■当日のプログラムを一部ご紹介

本稿がみなさまの目に触れるころには、すべてのプログラムの情報がリリースされている予定だが、いまの段階では完全にオープンにできない状態のため、概略のみのご紹介となることをお詫びしたい。

会場の大宮ソニックシティの大ホールと

会議室を使用して、それぞれに趣向の凝らされたプログラムが用意されている。いまから参加の目星を付けておいてはいかがでしょうか。

AA日本50周年記念集会

2025.3.28 29 30
FRI SAT SUN

大宮ソニックシティ



AA アルコホーリクス・アノニマスは飲酒の自覚から回復する解決方法を持つ行動グループです。AA日本支部連絡先: 電話: 0476-434-0154 FAX: 0476-434-0155 E-mail: aa50@aa-japan.jp

大ホール(2500人収容)

〈1日目〉

3日間のオープニングを飾るのは13:30からの「3分間誰でもOSM」。ぜひふるって登壇いただきたい。構えることなく、いつものミーティングの調子で分かち合っていただければ。

続いて「感謝を込めて50年」をテーマとしたスピーカース・ミーティングを経てオープニングセレモニーのフラッグ行進へ。今回は地区ごとの代表メンバーにご協力いただく。関西兵庫地区からは惜しくも中止となった45周年記念集会の実行委員長にお出まいたただく予定だ。そして海外招待スピーカーへ移る。もちろん通訳が付くのでご安心いただきたい。

〈2日目〉

日中は会議室でのミーティングやセミナーへ、17:00から大ホールへどうぞ。ソーパーカウントダウンで、ロングタイマーからワンデーの仲間まで一人ひとりのソブラエティを祝おう。続いて国内外のスピーカーが登壇。テーマは本記念集会の「つなげる手、つながる心、その先にある未来」だ。

〈3日目〉

最終日は朝9:00から「未来へ受け渡していくもの」をテーマとしたスピーカース・ミーティング、パネルディスカッションも実施。午後にはさよならセレモニーを経て、55周年記念集会の開催地域のご挨拶で締めくくり、15:00にすべてのプログラムが終了する。

会議室(全3フロア/18室)

3日間を通じて開催されるミーティングやセミナーの数は35。一部プログラムはオンライン参加も可能。地域・地区・グループなどそれぞれの主催団体の個性が一堂に会する。いままでになかった気づきや出会いを経験できるかも。どうぞお楽しみに。

■一人ひとりの思いをつなげる記念集会

最後に、筆者のごく私的な思いを記させていただくことをご容赦いただきたい。

筆者がAAにつながったのは2015年の5月。AA日本40周年の年だが、記念集会は終わっていた。当時通わせてもらっていたミーティングのなかで、米国の80周年コンベンションの話聞かせてもらった覚えはあるが、日本の40周年については耳にした記憶がない。もっとも、語られていたのにもかかわらず飲酒が止まってまもない筆者の頭に残らなかった可能性も大いにあるが。

そのため、今回、実行委員をやらせてもらうことになって、初めて自分につながった年が40周年にあたることを知ったのである。

そんなこともあってか、来年AAに新しくつながる、また、プログラ

ムをやり直す仲間に、先々、自分のソブラエティが50周年の年に始まったことを思い出してもらえるような記念集会になってほしいという思いが強い。もちろん、ソーパーを重ねた仲間にも末長く振り返ってもらえることを願っているし、AAメンバー以外の方にも50年の経験を通じて育まれたAAの力と希望を持ち帰っていただきたい。

あえて私感を述べさせていただいたのは、みなさまそれぞれにAAの50年と自身の歩みに期する思いを集会に持ち寄っていただきたいからである。



3月、会場の近くには桜のスポットもあると聞いている。どうぞみなさま、会場へお運びください。

■新常任理事会メンバーより (2024年4月1日付就任)

■良心に導きを得ながら進めてまいります。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

東日本圏選出 広報・病院施設担当 石川

第29回AA日本評議会の選挙にて東日本圏選出B類常任理事に信任を頂いた石川と申します。第2分科会広報・病院施設担当としてやらせていただきます。日頃は中部北陸地域静岡地区富士のバラグループに所属して仲間と一緒に活動させてもらっています。2013年静岡地区委員、2014年中部北陸地域委員長、2015、16年で評議員をさせてもらい、2022年から常任理事会「AA公式動画作成委員会」「アーカイブ委員会」の一員としてやらせてもらいました。

後期評議員の任期が終盤になったころ、長年勤めたオフィス職員の退社、次の職員の募集はしているが、なかなか決まらないとのオフィス委員長の説明があり、新年度に向けて地域委員会事務局を立ち上げ、1年間事務局長をさせて頂いたのは、今となれば良い思い出となっています。

AA日本は来年50年の節目を迎えることとなります。ここ数年はコロナ禍の影響で活動が停滞したり、変化した所も感じていますが、「我々が飲まないで生きていくこと」と「他のアルコールも飲まない生き方を達成するように手助けすること」の本来の目的から逸れることなく進めていく必要はあると思います。

AA公式動画作成委員会ではよりわかりやすく、より多くの方(ア

ルコホーリックや関係者、一般の方々)にAAを知らせていこうと活動し、またアーカイブ委員会では、先行く仲間の一人ひとりが、50年近い歴史を作っているのだと知ることにより一層、自分が今ここで飲まないで生きることに感謝せざるを得ません。

今回は何名かの理事、評議員からの薦めもあり、ぜひ役割に就かせて頂きたいと強く思い、立候補し信任していただきましたが、力不足のところは多々あります。しかし他の理事、WSM 評議員、評議員、JSO スタッフ、多くの仲間と共にやるならば、きっとハイヤーパワーが導いて下さると信じています。どうぞよろしく願いいたします。

■微力ながら日本のゼネラルサービスの大切な役割をやらせて頂きます。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

全国選出 出版、法人担当 丹生

今年の4月から、全国選出枠にて B 類常任理事に就任いたしました丹生と申します。担当としては、第3分科会の出版とNPO 法人の担当をさせていただきます。よろしく願い致します。

私のサービス経験としては、グループ代議員、兵庫地区委員、関西地域委員会議長、評議員を経て、今に至っております。2012年の12月の頭にAAにつながらせて頂き、グループに入って半年後ぐらいにミーティングチェアを任せて頂いたのがサービスの始まりでした。毎週日曜日の朝10時から2時間のミーティングで、会場確保からコーヒーの補充などをしながら、自分の居場所が1つ増えたような感覚で取り組んだのを覚えています。それからまさか、常任理事までやらせて頂くとは想像もしていなかったのですが、AAのことを徐々に知り、いろんなメンバーと関わりながら、サービスの役割をその期間中できるだけやれるだけやらせて頂くことで、私の後半生もひらけて行ったような気がします。

私の感じるAAの良さは、性別も年齢も関係なく、どんなバックグラウンドを持ったアルコールクでも受け入れてくれる愛と包容力だと思います。また、サービスにおいては公平な参加権があり、新しいメンバーも長いメンバーもまったく同じようにサービスに参加することもAAの素晴らしいところです。

時代はどんどん変わり、私が社会人になった1980年代前半には無かったものばかりで、携帯電話・PCの普及、IT革命、今はAI革命時代です。しかし、AAの本質的な部分やコアの思想、霊的なものはどんなに時代が変わろうが、人間が人間であるなら変わらない、ゆるぎないものだと感じます。

ゼネラルサービスの大きな役割として、10年後、20年後の仲間に変わらないAAを手渡していくということがあります。

私としてもできるだけ、任期の4年間をそのような仕事に捧げたいと思っております。何卒宜しく願い致します。

■今回の理事経験を通し、これからも成長し続けたいと思います。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

ゼネラルサービス常任理事 JSO、議事(評議会)担当 笹井

第29回評議会でB類常任理事に信任していただいた笹井と申します。これからの4年間、社会資源としてのAAの維持、発展のために全力を尽くしたいと思っています。しかし、私一人ですべてはごくわずかです。AAの友人、AAメンバーのみなさんの助けが必要です。

私の最後の飲酒は2000年6月です。散々飲み歩き、家族や会社、ご近所さんに迷惑をかけ続けていました。ハイヤーパワーの配慮により1999年9月の交通事故で死にかけた後、思うように体が動かず飲酒が急加速しました。12月に自殺未遂をしたとき、別居していた妻がたまたま様子を見に来て私を発見してくれたおかげで今があります。

翌1月から1度目の精神病院。病院のプログラムに駄々をこね、通院で参加した帰りにパチンコ屋により、院内で行われていたAAメッセージにも参加しないまま退院しました。AAを知らないまま6月末から2度目の入院。今度こそ離婚、今度こそ会社をクビになるとあきらめかけていた半分、1度目と何か違うことをしなくてはという思いもありました。その頃によく一緒に行動していた仲間は3度目の入院で、前の2回とも病院のプログラムを途中で放棄したので「今回は最後まで入院する」と意気込んでいました。その仲間につられて私もプログラムを欠かさず参加し全うすることができました。

また、入院中に「週1回自助グループに参加します」という誓約書にサインをしてAAに通い始めたのですが、外出できることがうれしくて週3回通うようになりました。

通い始めて1か月半ほど経過した頃のことです。AAのミーティングで他人事のように聞いていた仲間の話が、実際に私の目の前で起こり「このことを言っていたのか！」と腸(はらわた)に染み渡る快感を覚え、もっとAAに通いたいと思うようになりました。そして10月初旬の退院後、毎日2~3回ミーティングに通いホームグループを決め12月にはスポンサーをお願いすることができました。

私はAAと会社と家庭の三角形を中々均等に保つことができず、イロイロとやらかしてきました。12のステップさえ踏んでいれば素晴らしいAAメンバー、社会人、父親や夫になれると思っていました。しかし、どうもうまくいきませんでした。

もがき苦しんでいる頃、ホームグループで行っている伝統ミーティングの司会を引き受けてくださった先行く仲間の話す「12の伝統は社会でうまく生きていくためのツールだと思っている」を聞き、私は伝統をないがしろにしてきたから今生き辛いのだ！と気付かせてもらいました。

12の概念も評議員になってからミーティングHBに掲載されてい

ることを知り知識、経験不足を痛感すると共に、自分で言うものな
 んですが、まだ伸びしろあり！と希望を持ちました。

AA のプログラムは完成ではなく成長を目指すものと理解してい
 ます。今回の理事経験を通してこれからも成長し続けたいと思いま
 すので、どうぞよろしくお願ひします。

■ワールドサービス・ミーティング評議員就任のご挨拶

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

World Service Meeting (WSM) 評議員 今井

2024 年2月第 29 回評議会でもワールドサービス・ミーティング(通
 称 WSM) 評議員に信任を頂きました今井です。4年任期の前半2
 年は後期評議員の大迫さんと二人で務めて参ります。

任期を通じ日本の AA が社会にとってメンバーにとって、そしてこ
 れから仲間となる未来の仲間にとって少しでも役立つものになるよ
 う努力していきますので関係者の皆様、メンバーの皆様何卒よろし
 くお願いいたします。

WSM 評議員の主な役割は、日本から遇数年に開催されるワー
 ルドサービス・ミーティングと、奇数年に開催されるアジア・オセア
 ニア・サービスミーティング(通称 AOSM)へ参加し、日本の各地域に
 報告することのほか、年間を通じて AOSM 分科会活動、各国
 WSM・AOSM 評議員との情報交換、各国サービスオフィス経由の
 相談や依頼に対応することです。

私は 2009 年 11 月 AA につながり現在 14 年の飲まない生き方を
 頂いています。ホームグループは東関東地域ひがし城西地区豊
 島グループ。4 年前に再婚し妻と子供の 3 人で暮らしています。人
 生を価値あるものに変えてくれた AA の原理に感謝しています。

今年の 3 月末でゼネラルサービス枠選出常任理事・常任理事
 会議長・企画担当理事として 4 年間の任期を終えたばかりです。コ
 ロナパンデミックの影響で世界的な変動の中、日本の AA も大きな変
 化を迫られた 4 年間でした。新たなテクノロジーの活用をはじめ
 ミーティングやサービス活動の継続のため、多くのノウハウや経験が
 蓄積されました。オンラインミーティング・ポータルサイト立ち上げの
 サポート、フルオンラインでの第 26 回評議会開催、AA 日本 45 周
 年記念集会オマージュイベント、ゼネラルサービスフォーラムそし
 て 2021 年インド開催中止を受けて AOSM のオンライン開催のオペ
 レーションのサポートなどを行いました。そしてその日本の経験を
 ナショナル AA テクノロジーワークショップでプレゼンターを務め他
 国の AA に伝えることができました。すべてをお伝え出来ないのが

残念ですが、AAWS 社所有のミーティングガイド・アプリのユーザー
 インターフェース日本語化が AAWS 社理事会そして北米常任理事
 会の承認を受けたことは、これまでの先人たちが行ってきた多くの
 書籍の翻訳出版、評議会の安定した開催、そして AOSM オンライ
 ン開催のサポートなどこれまでの先人たちが残してくれた日本のゼ
 ネラルサービスの取り組みが評価されたことであると感謝申し上げ
 ます。

そのような経験から、WSM・AOSM で分かち合われる様々な課題
 に対して、議長・企画担当理事として携わった日本の経験は必ず
 他国の役に立てるでしょうし、世界中の経験を日本に持ち帰り参考
 にできることも多いと確信しています。

日本が初めて参加したのは 1986 年、グアテマラでの第 9 回 WSM
 です。「AA 日本サービスガイド改訂版 2010」の第 1 章 AA 日本サ
 ービス体系の変遷に以下の通り記述されています。「その 10 周年
 を記念して開かれた千代田公会堂で、意欲的にも第 1 回日本 AA
 全国代議員集会を開催した。兎にも角にも、日本で初めて、ワー
 ルドサービス・ミーティング評議員を選出した。」そこで得た経験と
 提案が日本のゼネラルサービス評議会機構づくりに大きく活かさ
 れました。(詳しくは AA 日本 20 周年記念誌、30 周年記念誌に書
 かれています。)以降毎回欠かさず参加し、AA を愛と共感と安らぎ
 の場所として発展に寄与された先人たちに続いてこの役割につけ
 ることは大変光栄なことです。しっかりとバトンをつなげるよう責任を
 果たしたいと思ひます。

皆さま、お世話になりました

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

JSO 新井

このたび定年が間近となり JSO 職員を退職することになりました。
 2011年3月に任用していただき、13年と少し、おそらく大過なく過
 ごせたことと思ひます。それもこれも皆様のおかげです。

席に座れば、北海道から九州沖縄まで日本中の仲間から、関係
 者の皆さまからもお電話をいただきました。時には足を運んでくだ
 さり、その度に励まされました。

在職中の職員2名はご存知の通り格段に素敵なメンバーですし、
 近く新職員が採用されると聞いておりますので、私は何の心配もな
 く退職することができます。

長きにわたり皆様には大変にお世話になりました。改めて深くお
 礼を申し上げます。ありがとうございました。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休